

人口減少対策に関する戦略を策定



地域創生総合戦略推進本部会議の様子

人口減少を緩やかにするため、国が進める「地方創生」の取り組みに合わせ、町では、「小野町人口ビジョン」および「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を10月29日に策定しました。

町の人口は、昭和30年から減少を続けており、今後は、これまでも増して急速に減少する見込みとなっております。

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の試算によると45年後の平成72年の人口は、下記図表のとおり4,414人と推計しています。

人口の減少は、労働人口の減少や消費力の低下などが考えられることから、減少の幅を緩やかにする必要があらります。

町では、人口減少対策を最重要課題の1つとして捉え、人口減少対策に取り組んでおります。

今回策定した総合戦略は、これまで町が取り組んできた人口減少対策を加速させる取り組みと位置付け、人口減少を抑制し、社人研による平成72年の人口推計より約2,100人以上多い6,500人以上を確保するため、次の4つを基本目標に取り組みます。

- ① 結婚・出産・子育て・教育に楽しみやうれしさを実感できるまちづくり
 - ② 活気にあふれ、賑わいを実感できるまちづくり
 - ③ 新しいひとの流れづくり
 - ④ 未来に向かって安全で安心して生活できるまちづくり
- 「小野町人口ビジョン」および「小野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は小野町ホームページでご覧いただけます。
- なお詳細については、来月号でお知らせします。



【図表：人口の将来展望】

単位：人

